

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

1997年3月20日 No.10

雑誌月間 4月



尾張第1分区分.M.ミーティングでの意見発表者の皆さん 2月16日(日) 於知多市勤労文化会館



雑誌月間を迎えて

1996～'97年度

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 松 本 宏

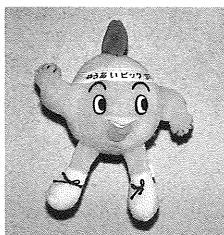
4月はロータリー雑誌月間です。各クラブでは、ふさわしいプログラムを実施する工夫がされています。ロータリーの雑誌には公式には、国際ロータリーの機関誌「The Rotarian」と、RI理事会の認める公式地域雑誌があります。現在公式地域雑誌に指定されているものは「ロータリーの友」を含めて22誌あり、会員はロータリーの機関誌又は公式地域雑誌のいずれかを購読しなければならないことになっています。「ロータリーの友」誌は、私たち日本の会員がロータリアンとしての知識、哲学を一層深め同時に会員同士の親睦を深めるのに役立つような方針で編集されています。横組みの部は、RI会長メッセージなどRI本部からの情報、理事会決定事項など必要な情報が掲載されていますので、この部分を読んでいればRIの情報が殆どわかることになります。縦組みの部分は講演要旨、会員投稿など教養と親睦的な記事で極めて親しみやすく編集されています。また「ロータリーの友英語版」も発刊されています。海外の友達や知人に送ったり、国際会議など出張時に持参して寄

贈することは、日本の歴史や文化を海外のロータリアンに理解させる有効な方法だと思います。

実際に「ロータリーの友」が、ロータリアンにどれだけ読まれているかとの設問には、あまり良い答えは返ってこないことがあります。私もガバナー公式訪問時には常に、その購読を要請いたし、ロータリー情報を知る最も良い手段であることを強調しました。「友」は週刊誌など営利雑誌と異なりますので、一般的には堅苦しく読みにくいという先入観を持つ会員もあると思いますが、ロータリー情報提供のテキストとして、ロータリーの知識を深めることに活用し、かつ利用することに心がけていただきたいのです。ロータリーに関する文献にもまして、すぐ役立つものであり、実際に大きな効果をあげられると確信いたします。

雑誌月間にあたり、「The Rotarian」「ロータリーの友」が、よりよく読まれ、地域社会、国際社会のために貢献されますことをご祈念申し上げます。

ココちゃんに変身PRに一役・地区大会の寄金



昨年稲沢市で開催しました本年度地区大会において、愛知県に「ゆうあいピック、愛知・名古屋」開催資金の一部として、200万円を寄贈いたしましたところ、今般愛知県よりその用途について「ゆうあいピックの事前PR、及び開催中に会場で活躍する、ぬいぐるみマスコット『ココちゃん』2体の製作費に充当し、広く県民及び大会参加者に見ていただくことになりました」とのご報告がありました。

PRに一役買い、大会で雰囲気盛り上げるココちゃんの活躍に期待しましょう。



雑誌月間によせて

地区ロータリーの友委員会

委員長 小栗孝久

まずもって、「ロータリーの友」にお寄せいただくご好意とご愛読に感謝を申し上げます。

毎年4月は“雑誌月間”に指定され、クラブはその月間中に雑誌に関するプログラムを実施することになっています。日本のロータリーでは、現在「ロータリーの友」がRIで認められた唯一の公式地域雑誌となっており、標準クラブ定款第12条により会員の購読が義務づけられています。

「ロータリーの友」は地区ガバナーの機関誌として、1953年1月に、広い意味でのロータリーインフォメーションの普及をその目的として発足しました。

1977年クラブ定款第10条（現12条）の改正に伴い、公式地域雑誌の規定が設けられ、「ロータリーの友」は1979年7月から公式地域雑誌となるための1年間の実験期間にはいり、1980年7月から公式地域雑誌となりました。

「ロータリーの友」はロータリーの友委員会により運営されています。この委員会の委員長は地区ガバナーの合議で決定し委嘱されたパストガバナーがその任に当たり、委員長は地区ガバナーに対して「友」運営の一切について責任を負っています。

創刊当初は発行部数3,300部であったが、44年後の1月号では141,600部に及び通巻529号を数えています。

さて、蛇足ながら、ロータリーの「公式地域雑誌」として認められる基準は次のようになっています。

・2地区または2国以上の地域を対象に発行。

- ・ガバナー（1人又は数人）の任命した委員会が直接監督すること。編集ならびに経営の面においても適切な監督を受け入れること。
- ・編集内容はRIの方針に合致し、少なくともその50%はロータリーあるいはロータリーに関連のある記事でなければならない。
- ・地元や地縁的性格のニュースに加えRI情報、RI会長またはRI理事会から要請される話題や特別教示事項の発表を考慮すること。
- ・一年間に4回以上発行のこと。
- ・ロータリーの品位と特質にふさわしく、全体的に格調の高い内容と魅力的な外観を保たなければならない。
- ・地域のロータリアンの過半数に達する発行部数の確保。
- ・RIに財政的負担をかけないこと。

このように「ロータリーの友」は、RIの目的の推進とロータリーの綱領の達成を助けるパイプ役、媒体としての役割を課されている訳であります。

“縦組みは自分を磨き、人間形成に役立つし、横組みではロータリーに関する情報が満載されているので『友』を精読すればロータリーに関するほとんどのことを理解できる”とさえ言われています。

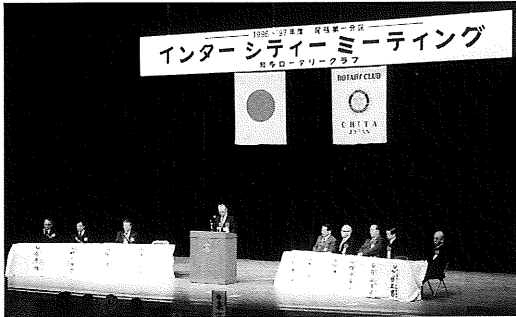
地区内各クラブの雑誌委員長さんには『友』誌への関心度向上のためお骨折り戴いておりますが、尚一層クラブ独自の工夫を戴ければ誠に幸甚に存じます。

『友』誌の愛読者がひとりでも増えていくことを期待してやみません。

1996～'97年度

INTERCITY MEETING(尾張第一分区)

尾張第一分区代理 森 岡 秀 夫



△と き 1997年2月16日(日)

△ところ 知多市勤労文化会館

△ホスト 知多ロータリークラブ

(プログラム)

1 部「新入会員研修会」

参加者 6 クラブ52名

開 会 11:30 閉 会 12:20

パネラー 地区研修リーダー

バストガバナー 田中 徹

「ロータリーの基本について」

◎ロータリーは善意と友愛を原点として、超
我の奉仕哲学に基くものである。

◎例会出席 メンバーの心の交流と情報交換
心を磨く場所が例会場であり、例会はその機会
である。他クラブへのメークアップは、あくま
でその補填である。

◎会員はまず手続要覧を読むことによって、
よりロータリーの理解を深め、そのことによっ
てロータリーを楽しむことである。

2 部 「式典並びにミーティング」

開 会 13:30

松本ガバナー、森岡分区代理、犬飼ガバナー
ノミニー、河合次期分区代理の挨拶に続き、
テーマ 「新世代を考えた青少年活動」

について、ミーティングを行う。

コーディネーター 地区青少年活動委員長
加藤正男

1、R.C.Cについて 半田クラブ

RCC委員長 大岩武久

RCC設立経緯等及び現況について

半田市登校拒否対策協議会指導部

青山中学校教諭 山本宏巳

登校拒否の内容、指導問題等について

2、インターアクトについて 東知多クラブ

阿久比高校教諭 森 重統

〃

川角尚登

生徒約1000名の内、部員20名、ホストクラブ
の支援感謝、又生徒の良否、実際指導の話あり
今後の充実を計りたい。

阿久比高校インターアクトクラブ

阿久比高校生徒 石塚 理

入会の経緯とその後の体験、特にボランティ
ア活動の報告。

3、ローターアクトについて 東海クラブ

東海ローターアクトクラブ会長 久野彰彦

入会者の減少(36名→18名)を嘆き、一部青
少年の悪性化を仕草^{しぐさ}を交えて語ると共に、会員
増強を各クラブに支援いただきたい。又、今期
開催の地区年次大会のホストをするので、ロー
タリアンの出席を勧誘する。

ローターアクト地区代表 神谷徳昭



事業の報告とクラブへの協力要請

コーディネーター 加藤正男氏の総括及び活動の
方向、諸問題等について、パネルを使用しての講話。

松本ガバナーの講評 閉会 15:30

3 部 「懇親パーティー」

開 会 15:45 閉 会 17:00

新世代のためのロータリー会議

「21世紀に向けて今！」

名古屋第二分区(10RC共催)

守山RC会長 川井 健 司

RIルイス・ジアイ会長の本年度プログラム6項目の一つに「次の世代を準備することによって、未来を築こう」があります。これに従って「新世代のためのロータリー会議」が実施されました。平成9年2月15日(土)13:00より第2760地区名古屋第二分区の10RC共同開催として、市内の中区役所ホールで開かれました。

松本宏ガバナーご臨席のもとにロータリアン約140名、新世代の出席者として名古屋名城ローターアクトクラブ、名古屋熱田ローターアクトクラブ、江南ローターアクトクラブ、名古屋短期大学付属高校インターアクトクラブ、その他守山ボランティアサークルの参加者など200名余。

本会議、古川善次郎名古屋第二分区代理の歓迎のことは、佐藤正俊(守山RC)実行委員長の出席者、出席クラブ紹介、川井健司(守山RC)キークラブ会長のあいさつ、松本ガバナーの挨拶、加藤正男地区青少年活動委員長のあいさつ。総合司会は後藤敬(守山RC)実行副委員長でした。

第2部の基調講演は天野鎮雄氏が「アマチンの若者考」と題して、演劇人の立場から現代の若者



り50年前と現代の若者との比較論として、思想的、哲学的な切口で、含蓄のある、共感を与える内容に全員聴き入っておりました。つづいて4人のパネラー、名古屋短大付属高校堀尾政世さん、愛知教育大学吉田龍宏さん、早稲田大学文学部佐藤美登世さん、名古屋名城ローターアクトクラブ田村真由美さんがそれぞれ意見発表を行い、コーディネーターの天野鎮雄さんの巧みな進行司会によって、新世代より出されたテーマが討論されました。主な内容はボランティアに対する取り組み方として、主体性と思いやり、自己の充実等がキーワードになっていました。また、若者の言葉の乱れから敬語の問題に話が展開して、尊敬よりも上品、敬語でなくていい語になった。そのために水くさい人間関係の距離が心配だという鋭い意見も出ました。その他に福祉と医療の問題も出ましたが、時間がやや短い感じがありました。

つづいて講評(加藤正男委員長)、総評として松本宏ガバナーより、おほめのおことばを賜りました。主催者お礼のあいさつ(川井健司キークラブ会長)、閉会のことは白石雅信(守山RC)実行副委員長、15:45無事成功裡に終了いたしました。

最後になりましたが、佐藤正俊実行委員長はこの会議について、準備の進行、会議の運営における総務、財務、渉外、当日の演出、進行に至る細部を、すべてとりしきり、抜群の実行力を発揮されたことを申しのべておきます。



の一般論を話されましたが、演技のテクニックにふれた折り、相手役をたてる思いやりの演技をすることで、舞台全体が輝いてくるといわれ、ロータリーの超私の奉仕、アイサーブとの共通点を感じました。

14:00よりのパネルディスカッションの始めにアドバイザー蜂谷弘道パストガバナーのお話があ



特別寄付報告書（1997年1月分）

財団法人 ロータリー米山記念奨学会
理事長 末 永 直 行

2760地区

クラブ名	クラブ収入金額	個人収入金額	法人収入金額	合 計	件数
蒲 郡	210,000	0	0	210,000	1 件
一 宮	0	210,000	0	210,000	7 件
名古屋千種	0	60,000	0	60,000	2 件
名古屋東	0	60,000	0	60,000	2 件
名古屋名南	500,000	0	0	500,000	1 件
名古屋港	0	150,000	0	150,000	2 件
名古屋瑞穂	0	750,000	0	750,000	25件
名古屋栄	0	720,000	0	720,000	24件
岡 崎	0	50,000	0	50,000	5 件
岡 崎 東	10,312	30,000	0	40,312	2 件
岡崎城南	0	30,000	0	30,000	1 件
瀬 戸 北	0	300,000	0	300,000	1 件
高 浜	39,770	0	0	39,770	1 件
豊 橋 東	100,000	0	0	100,000	1 件
豊 橋 北	0	100,000	0	100,000	1 件
豊 橋 南	0	210,000	0	210,000	2 件
豊 川	0	1,320,000	0	1,320,000	44件
合 計	860,082	3,990,000	0	4,850,082	



1997～'98年度会長エレクト研修セミナーを次の通り開催いたします。ご多忙のところ恐縮に存じますが、是非ご臨席賜わりご指導いただきますようご案内かたがたお願い申し上げます。

1. 日時 1997年4月8日(火)

10:00～10:30 登録受付

10:30～14:30 会議

(12:00～13:00昼食と懇談)

2. 場所 名鉄グランドホテル

3. ご出席者

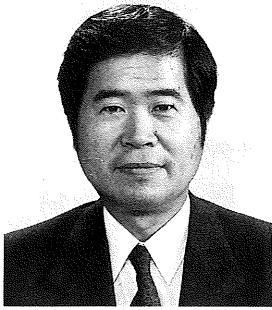
ガバナー・ガバナーノミニー・1998～'99年度ガバナーノミニー・次期地区研修リーダー・次期地区研修副リーダー・次期地区幹事・次期地区会計長・次期地区分区代理・各クラブ会長エレクト・各クラブ次期幹事
ご予約下さい。

1997～'98年度

ロータリー財団奨学生オリエンテーション

日 時／1997年 1 月26日(日)

会 場／名古屋毎日ビル国際サロン



地区財団学友会(小)委員会

委員長 梅 村 東

〈オリエンテーション次第〉 1. 開会 2. 出席者紹介 3. 松本ガバナー挨拶 4. オリエンテーション ①矢島財団委員長 ②長谷川奨学金(小)委員長 ③梅村学友会(小)委員長 5. 奨学生からの現況報告 6. 学友からの助言 7. 質疑応答 8. 地区役員より激励の言葉 9. 閉会
1997～'98年度財団奨学生のためのオリエンテーションが松本ガバナー、矢島財団委員長はじめ地区役員12名と古橋代表幹事他3名の学友並びに9名の奨学生の皆さんの出席を頂き開催されました。



た。松本ガバナーより“勉強をしっかりとて頂き、一方ロータリーの国際親善使節としての役割を充分認識し現地ロータリアンとのコンタクトあるいは現地学生の皆さんと交流を深め素晴らしい成果をあげられるよう期待しております。又何と言っても健康が第一ですので身体には充分気をつけ楽しいカレッジライフを過ごして欲しいと思います。本日出席の先輩(学友)の皆さんからはご自身の経験をふまえて色々なアドバイスをして頂きたいと思ひます。”とのご挨拶がありました。引き続きオリエンテーションに入り、はじめに矢島委員長より“10月7日付でRIより志望校についての指定がされました。その後の留学について色々な作業、指定校との状況を皆さんからお聞きをしたい点と、学友の方からは是非貴重な体験談をお聞か

せ頂き奨学生の皆さんの参考にして欲しいと思ひます。”とのご挨拶があり引き続き矢島、長谷川、梅村各委員長よりそれぞれの立場から留意事項について話がありそして奨学生による現況報告並びに学友からのアドバイスがなされました。当日出席を頂きました学友の古橋代表幹事、平野千晶('93)、水野教子('94)、加藤三千代('95)の皆さんから“語学力の準備を充分するように”“ホストカウンセラーとの連絡をなるべく早くとり密にする。”

“例会に呼ばれた場合は日本的なことが出来ると喜ばれる”“留学先の現地の状況は地元の人によく聞くことが大切である。”など貴重な体験談を語って頂き、その後質疑応答を通じ大変意味のあるオリエンテーションにすることが出来ました。奨学生の皆さんはいずれも希望と期待に胸をふくらませ留学に向けての準備を進められている様子です。しかしながら今回のオリエンテーションでも明らかになりましたが、まだまだ多くの課題をかかえ、いくつものハードルを越えなければいけないことも事実です。今後とも推薦ロータリークラブの皆さん、特にカウンセラーの方には奨学生に対するご支援、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。閉会にあたり奨学生の皆さんの益々のご健勝と次回学友会(総会並びに壮行会)が行われる5月18日に再会を約し会を閉じました。



1996～'97年度 第2回地区インターアクト顧問・委員懇談会

日 時／1997年2月8日(土)

会 場／名古屋YMCA

地区インターアクト(小)委員会

委員長 坂 本 康 信



去る2月8日(土)午前10時より名古屋YMCA・AVホールにおいて、昨年より実施した国際ロータリー第2760地区 第2回地区インターアクトクラブ顧問・委員懇談会が開催され、顧問教師18名、地区役員・委員11名、スポンサーロータリークラブインターアクト委員長・青少年活動委員長16名等総勢45名のご出席のもと盛会かつ成果を得て終了した。

《懇談会の主旨》

(1)地区インターアクトクラブの情報交換及び意見交換(プログラムアイデアの交換、運営に困っている問題、提唱ロータリークラブ・地区インターアクト委員会への要望) (2)今後の課題整理及び方向性の確認 (3)各校顧問教師の交流 (4)顧問教師とロータリアン委員との交流。

《開 会》

河合良之地区インターアクト委員の司会によりすすめられた。

インターアクトの歌の斉唱、つづいて坂本康信地区インターアクト委員長のあいさつ(主旨説明)、加納 泉地区青少年活動カウンセラーよりインターアクトクラブ顧問並びにスポンサーロータリークラブ委員の活躍に対する敬意と今後の働きへの励まし、更にロータリークラブの世界的な働き(ポリオの撲滅、留学生への支援等)についてご挨拶され一同感動をした。

《懇談会》

山口誠一地区インターアクト委員の司会によりすすめられた。

(1)参加者の紹介—中根地区委員により紹介

(2)情報交換

a. 各インターアクトクラブの特徴及び課題(諸問題)について、豊橋商業、名古屋、安城学園、一宮女子、阿久比、千種の6クラブの顧問教師より発表があり、その後坂本委員長より発表を踏まえて、インターアクトクラブの今後の在り方についてのまとめがされた。更にスポンサーロータリークラブを代表して津島ロータリークラブの清水裕行地区委員の発表等、インターアクトクラブについての理解を深めた。

b. 第8回(通算第34回)インターアクトク



ラブ協議会の計画について、ホスト校津島女子高校川田顧問より発表された。

c. 第10回地区インターアクトクラブ海外研修派遣の計画が坂本委員長より発表された。

《懇親会》

多田博剛地区インターアクト委員の司会によりすすめられた。

加藤正男地区青少年活動委員長の感謝の挨拶、鈴木孝則副委員長の乾杯の発声により懇親会がすすめられ、荻本鉄夫地区インターアクト副委員長の閉会挨拶で終了。



第2760地区ニュース・その他

第4回地区諮問委員会開催

平成9年1月25日(土)

〈報告事項〉

1. 1996～'97年度地区資金中間報告について
2. 1996～'97年度地区大会収支決算書について
3. 1996～'97年度米山奨学生選考について
4. 1998～'99年度ロータリー財団国際親善

奨学生について

申請書の受付期間：RC受付・締切

1997年3月1日～3月31日

地区選考試験：1997年5月31日(土)

選考会場：愛知学院大学本部

選考発表：1997年6月1日

5. 第2回地区運営効率化委員会

日時：1996年11月15日(金)12：00～14：30

第3回地区運営効率化委員会

日時：1997年1月25日(土)14：00～17：00

6. 1997～'98年度地区大会開催、RI理事会認可

7. 地区主要会議日程について（1月～3月）

〈協議事項〉

1. 1997～'98年度ガバナーノミニーについて
2. 1997～'98年度分区分代理委嘱について
3. 1997～'98年度地区資金予算（案）について
4. 1997～'98年度地区役員及び委員（案）について
5. 1997～'98年度会長エレクト研修セミナーについて
6. 1997～'98年度地区協議会開催要項（案）について
7. 1997～'98年度地区協議会分科会指導者（案）について
8. 1997～'98年度地区協議会予算（案）について
9. 1997～'98年度地区大会について
10. 1997～'98年度地区リーダーシッププランについて
11. 1997～'98年度公式訪問日程（案）について
12. 1997～'98年度ガバナー事務所役割分担表について
13. 日本海重油流出事故災害救援金募集のお願いについて

第2回地区財団合同委員会開催

と き 平成9年1月26日(日)

ところ 毎日ビル国際サロン

〈報告事項〉

1. 次期地区ロータリー財団委員会構成の件

〈協議事項〉

1. 1996～'97年度地区財団セミナーの件
2. 地区財団活動資金DDFの配分の件
3. ジャパン奨学金とスポンサー地区の件
4. ポリオ・プラスの現状と寄付金の使途並びに撲滅への取組みの件

地区の今後の主要会議スケジュール

西三河第二分区分I.M.

3月22日(土) グリーンホテル三ヶ根

名古屋東山RCチャーターナイト

3月25日(火) ホテルナゴヤキャッスル

第5回地区諮問委員会

3月29日(土) 名鉄グランドホテル

第4回地区運営効率化委員会

3月29日(土) 名鉄グランドホテル

名古屋南RC創立40周年記念式典並びに祝賀会

4月2日(水) 名古屋観光ホテル

地区内国際奉仕委員長会議

4月4日(金) 名古屋都ホテル

1997～'98年度のための会長エレクト研修セミナー

4月8日(火) 名鉄グランドホテル

地区社会奉仕委員長会議

4月10日(木) ホテルナゴヤキャッスル

小牧ローターアクトクラブ創立10周年記念式典

4月20日(日) 名鉄小牧ホテル

岡崎東RC RCC認証状伝達式

4月24日(木) 名鉄岡崎ホテル

豊橋北RC創立40周年記念式典

5月7日(水) 豊橋グランドホテル

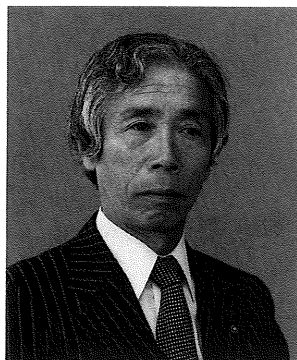
第7回地区RAC年次大会

5月17日(土)～18日(日) サン笠寺

1997～'98年度のための地区協議会

5月24日(土) ホテルナゴヤキャッスル

第2760地区ニュース・その他



地区青少年交換プログラム 三者懇談会開催

地区青少年交換(小)委員会

委員長 林 光 雄

2月1日午後4時からホテル・キャッスルプラザにおいて、第三回「青少年交換プログラム三者懇談会」が開かれました。

松本宏ガバナーの代理として内田栄一地区幹事、吉村和一郎地区国際奉仕委員長、林光雄地区青少年交換委員長、木本精之助副委員長、大谷和雄委員、神田憲委員の外、関係クラブ国際奉仕委員長、ホストファミリー、関係学校の先生方が60名集まりました。会は活発で、建設的意見が多く、時間を延長し更に懇親会でも引きつづき意見が交換されました。

まず、内田地区幹事から、各クラブ、先生、ホストファミリーへの謝辞があり「R・I会長は“築け未来を行動力と先見の眼で”のテーマで特に青少年問題を重視され、地区としてもこの問題に重点を置きとり組んでいる。」と挨拶されました。つづいて吉村国際奉仕委員長から「派遣国が従来のアメリカ、カナダ、オーストラリアからブラジル、フィンランドの五国に拡がり喜ばしい。」と述べられました。林青少年交換委員長からは「受入留学生については難しい面もあるが、派遣留学生の成長ぶりには大きな喜びと感動を覚える。この有意義なプログラムが更に拡大し、青少年の健全な育成と国際理解、国際親善に貢献することを切望する。」と結ばれました。

つづいて懇談会に入り、参加者全員から意見が述べられました。その主なものは、

〈クラブ〉

受入留学生にかかる経費の負担区分。ホストファミリー、ホストクラブ間の格差の問題。

〈学校〉

ホストファミリーの悩みを学校に知らせて欲しい。

ホストファミリーの子供が学校に来ていないと歓迎し難い。ロータリークラブは担当する教員に対しての配慮が足りない。授業の合間にも日本語を教え、個人の時間がない。学校側の苦勞を認識して欲しい。

留学生は常に辞書を片手に勉強している。日本の生徒も見習ってほしい。

派遣留学生が決定してから出身校に受け入れの依頼があり断りにくい。

〈ホストファミリー〉

約束事は明確に決めるのがよい。英語を使うのは日本語勉強の妨げになる。行動記録や感想を日記につけておくで参考になる。女性の苦勞が多いことを認識して欲しい。日本を第一希望にしていない留学生が多い。

などでした。

最後に木本副委員長から、「このプログラムは“次の世代に向かって若者を育てよう、というプロジェクトであり、力を寄せて欲しい」と結ばれ、会を閉じました。

第2760地区ニュース・その他

新世代のためのロータリー会議開催

名古屋名東ロータリークラブ

と ころ ウイルあいち 3F 会議室第4
主 催 名古屋名東ロータリークラブ
日 時 1997. 2. 2. 午後2時～午後5時
会議テーマ 「新世代と国際性」



ジアイ国際ロータリー会長の要請に基づき、当クラブ主催の会議が2月2日午後2時より、「新世代と国際性」をテーマに名古屋市内の「ウイルスあいち」で参加者43名により開かれた。

太田幹事の開会宣言に始まり、古川善次郎名古屋第二分区代理の来賓挨拶、今枝インターアクト委員の出席者紹介、会議プレゼンテーションの後、大角佳生国際センター事業部長の司会で、新世代出席者23名全員により国際性あるいは国際人について、「ボランティア」、「コーヒーの流通経路」、「国連」、「点訳」、「環境問題」、「福

祉」、「語学力」そして「校則改定と国際性の関連」などなど、いろいろな切り口から若者の率直な意見が述べられた。

次いで、鈴木哲夫名東区長、加藤梅雄長久手町長、内藤明人名古屋商工会議所前副会頭の来賓の方々から論評をいただいた。

再び、新世代出席者全員から「国際化について自分では何ができるか？」について意見を聞き、大角国際センター事業部長のまとめと講評。北村会長のお礼挨拶、太田幹事の閉会宣言で3時間にわたる、青年にとっても大人にとっても、非常に有意義な会合を終了した。こういった会合はもっと続けて欲しいと言う意見も新世代出席者からでた。

出席者

来 賓：鈴木哲夫名東区長、加藤梅雄長久手町長、内藤明人名古屋商工会議所前副会頭、大角佳生国際センター事業部長、古川善次郎名古屋第二分区代理

名古屋名東RC：北村会長以下12名、事務局2名
愛知淑徳大学：4名
名城RA：4名
名東高校：5名
千種高校：木村先生以下11名



第2760地区ニュース・その他

ポール・ハリス没後50周年追悼例会の報告

〈豊田ロータリークラブ〉

追悼例会開催日時

平成9年1月23日(休)12:30~13:30

追悼例会の内容

イ、例会開始の冒頭にポール・ハリスの業績に黙禱

ロ、会長の卓話

演題 ポール・ハリスとロータリー運動

ハ、ポール・ハリスの生涯、ビデオ放映

卓話

会長 浦野正二

国際ロータリー第3ゾーン・コーディネーター 千 宗室氏より同ゾーン打ち合わせ決定事項の書簡によれば、1997年1月27日を中心とした前後1週間の間に当たる例会をポール・ハリス追悼例会とすることの要請があった。この要請にしたがって当ロータリークラブ12月12日開催の理事役員会は、本日1月23日の例会をポール・ハリス追悼例会とすることを決定した。例会冒頭において、ロータリー運動の創始者ポール・ハリスの偉業にたいして敬けんなる黙禱を捧げ、心から敬意を表した次第である。

1905年(明治38年)2月23日に、アメリカ合衆国イリノイ州シカゴの一青年弁護士であったポール・パーシー・ハリスが始めたロータリー運動が現在154ヶ国27,640クラブ、会員数1,176,884名の大きな輪となったことをだれが想像出来たであろうか。

ポール・ハリスの生い立ちは、極めて逆境だったといわれている。しかし、幼年期を過ごしたニュー・イングランド地方の勤勉・質素・実直な生活態度を祖父母からしつけられたことは、彼の以後の人格形成に大きく影響を与えたと言われている。彼の晩年の追想に「われわれが長い年月を顧みれば、ある時には重要だと考えたことも大したことではなく消え失せることが多

いものである。又それほど重要だと思わなかったことが極めて重要になるものもある。犠牲・献身・名誉・真実・誠意・愛—これらは良い旧式な家庭の素朴で高潔な特質である。」とっていることは、ピューリタニズムに根ざす個人の尊厳と独立を基調とする高い知性と勤勉さを内容とするものであってロータリー運動はかくして、一切の虚飾と相容れないものであり、平凡ではあっても、その日その日の生活に全力を捧げるという非常に単純な原理に基づくものである。

彼は弁護士資格を得たのち、もっと人生について広い経験を得るため、都会を離れて5ヶ年間の『放浪』の旅を行ったが、そこで得たものは、人類というものが、その伝統と慣習の相違からさまざまな思索と制度とをもつものであるのにもかかわらず、その根本は善意と友愛に支えられていることを知った。

5ヶ年間の放浪の旅ののち、マンモス都市シカゴへ来て痛感したことは、都会は万事便利で産業社会は物中心に推移しているため、そこに個人の孤独感が助長されていることであった。そこで職業上の交友と家族的・友愛的交友とをあわせて可能にする親睦団体であるクラブの結成を思い付いた。しかしながら職業人というものは、資本主義社会の基本前提である自由競争のもとで互いに相競うことを義務づけられていることから、同職業間に必然的発生する疑心暗鬼と不信感を避ける意味合いをも含めて、一業一会員制のクラブを彼を含めた4人でロータリー設立準備会を発足させ、それが後のシカゴロータリークラブへと進展したのである。

今日はポール・ハリス没後50周年にあたり、偉大なる先駆者ポール・ハリスの足跡をしのびかつまたロータリー運動の発祥の過程を述べて追悼例会の意義を果たしました。



第2760地区ニュース・その他

〈豊田東ロータリークラブ〉

追悼例会開催日

平成9年1月29日(水)

追悼例会の内容

イ、ポール・ハリスの業績と当クラブの4名の物故者に黙禱

ロ、パスト会長の卓話

卓話

パスト会長 三宅 寛

本日の卓話時間に会長より1/22～28日の追悼記念週間に際し、ロータリーの始祖ポール・パーシ・ハリス没後50周年を追悼し、その功績をたたえとともに会員にロータリーについての知識と理解を一層深めるためパスト会長よりスピーチをすべく要請がありました。プログラム委員会、卓話当番者のご承諾を得て皆さんと共に「ロータリー理解推進月間」を兼ね「ロータリーとは何か？」について少々の勉強を致したいと思います。

先回の例会でロータリーの友1月号が配布され、その内で詳しく、ポール・P・ハリスを追悼する記事が掲載され読んで頂いたと思います……。

ロータリーの究極の目的は、人間関係を改善することにより、平和な世界を築くために貢献することです。この人間関係の改善のためには……人間同志の深い信頼と友情であり、出発点は親睦活動であります。

これは一業一人の会員制でクラブを組織します。そして例会出席によって親睦が生れます。

これが、ポール・ハリスがシカゴで仲間を集めて始めた原点でありまして、多業種の方々とお付き合いできる接点がロータリーの魅力でもあります。

ポール・P・ハリスについては、既にご承知の通りですが、ここでもう一度この機会に概略を申し述べさせて戴き、皆さんと共に考えたいと思います。

1905年（明治38年）37才の青年弁護士として、

シカゴで3名により最初のロータリークラブを創立されましたがどのような過程でこの運動についての「アイデア」を考えたか？と言う事があります。

第一に考えられるのが、彼の生い立ちが、その一つの原因と思われる。3才のとき父親が破産、父母が別居したため一家離散。ポールは祖父母の家に残って育てられる。勤勉、質素、実直な生活態度を身につける。学生時代にはヴァーモント大学に入学したが、暴力学生団を組織して退学。一時会社員。のちに再度アイオワ州立大学入学ののち、弁護士になる。以後、5年間各国々へ点々と旅行。又、シカゴ万博etcで多くの友人が出来ました。ロータリーの基盤はこうした5年間の武者修行であると言われます。

ポール・ハリスがクラブの名称をいくつか考え提案された内で、ロータリーが選ばれました。この名前は集会が会員のオフィスで順番で行われる「ローテーション」方式になっていたからです。そこに友情は善意と善行に行き着くものだったからであります。又、数多くの他の集会にも出席するようになり、その一つのハイキングクラブで出会った、スコットランド出身のジーン・トムソンという若い女性と結婚しました。1910年（43才）でした。

スコットランドで最初のロータリークラブが結成されました所はグラスゴーRCであります。今年度RI国際大会（1997年6月15日～18日が開催されますグラスゴーであります。）以後、ロータリークラブは着実に成長し、現在155ヶ国に広がり、クラブ数28,134、会員総数1,206,112人（6/30現在）であります。

〈名古屋ロータリークラブ〉

ポールハリス没後50周年記念行事について
名古屋ロータリークラブでは記念行事として次の様に実施致しました。

1. ポールハリスの大型肖像写真を飾り、例会前にメンバー全員により1人1人献花を致

第2760地区ニュース・その他

しました。

2. 例会時には黙禱をし、会長よりポールハリスを追悼し、その業績を讃える主旨での講話をして頂きました。
3. ポールハリス没後50周年を記念し、正副会長自身率先しロータリー財団ベネファクターへの寄付を行いました。

1997年度地区米山奨学会 米山奨学生の選考試験開催

日 時 平成9年2月5日(水) am 9:30より
場 所 名古屋国際センター
出席者 R.I.2760地区ガバナー 松本 宏
(財)ロータリー米山記念奨学会理事 田中 徹
R.I.2760地区ガバナーノミニー 犬飼栄輝
R.I.2760地区バストガバナー代理
前地区幹事 神野紀郎
地区米山奨学会委員 6名
ガバナー事務所 3名
ガバナーノミニー事務所 3名

面接試験官

A室 田中 徹・犬飼栄輝
B室 松本 宏・天野 久
C室 神野紀郎・小田公平

小論文担当 地区米山奨学会委員・ガバナー事務所・ガバナーノミニー事務所

受験者 一般米山奨学金申込者 60名
地区米山奨学金申込者 84名
1997年度採用予定者数 20名

当日は上記の通り松本ガバナーをはじめ、16名の地区関係者の出席を得て、午前9時30分より名古屋国際センター5階に於て、YU、YMD申込者60名の面接と小論文をそれぞれA、B、C3室に分かれて行なわれた。午後は引き続いて、1時30分よりDiSY-B(以前にロータリークラブが所在していた国からの留学生、主として中国から来日している私費留学生)84名の審査

が行なわれ、午後5時無事終了した。平均競争倍率7倍という激烈な競争で受ける側も審査する側も大変な1日であった。

地区米山記念奨学会

委員長 小田公平

米山愛知学友会設立準備会及び1996年度 R.I.第2760地区米山奨学生期間終了者歓 送会と、指導教官への感謝の会開催

日 時 平成9年2月11日(火)pm3:00~pm6:30
場 所 メルパルク名古屋
参加者 R.I.第2760地区ガバナー 松本 宏
(財)ロータリー米山記念奨学会理事 田中 徹
地区米山奨学会委員長 小田公平
地区米山奨学会委員 4名
ガバナー事務所 2名
地区米山奨学生期間終了者 20名
地区クラブ米山カウンセラー 20名
米山奨学生指導教官 16名
米山奨学生OB 15名

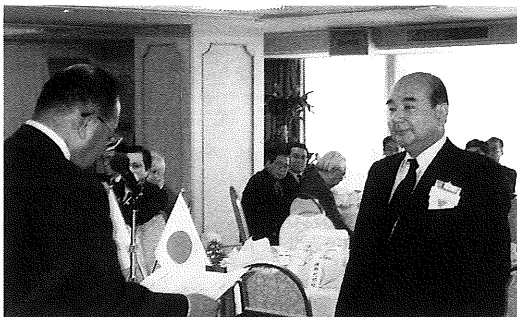
上記のとおり第2760地区松本ガバナーを始め80名の参加者を得て、まず、3時より米山奨学生OB15名、1996年度米山奨学生期間終了者20名、計35名で愛知学友会設立準備会が開かれた。最初に松本ガバナーより本年度期間終了を迎える奨学生に、今までの努力と今後の激励の言葉があり、引き続き田中理事より今後も愛知学友会に参加して米山奨学生との関係を密にして欲しいとの言葉があった。最後に加藤地区米山奨学会委員より6月28日開催予定の米山奨学生愛知学友会の設立総会に多数の参加をお願いして終了した。引き続き別室で期間終了奨学生歓送会と指導教官への感謝の会を開催、本年度見事に博士号を取得された6名の方に金時計が松本ガバナーより授与され、又奨学生全員に記念の額が渡された。参加者全員によるパーティーは、指導教官、カウンセラー、奨学生それぞれ思い

第2760地区ニュース・その他

出のスピーチなどを交えながら、天野委員の素晴らしい司会のもとに時間の過ぎるのも忘れ6時半に散会した。

地区米山記念奨学会
委員長 小田公平

豊橋東ロータリークラブ 創立1周年記念例会開催



とき 1月29日(休)午後12時30分より
ところ 豊橋グランドホテル

石川和昌バストガバナーを始めとして14名のゲストをお迎えして創立1周年記念例会が盛大に開催されました。

会長挨拶のあと、石川和昌バストガバナー・中村英彦特別代表よりご祝辞を賜わり、記念事業発表の目録贈呈を行いました。その後前東三河分区分代理平野義郎氏の乾杯の音頭で懇親会に入り、楽しくお祝いをすることができました。

＜記念事業として＞

RI2760地区ロータリー財団に1,000ドル、財団法人ロータリー米山記念奨学会に10万円を贈呈いたしました。

ロータリー財団

おめでとうございます
ご協力に感謝申し上げます。

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 12月分

氏 名	所属R.C.
蜂 須 賀 利 雄	(岡 崎)

ベネファクター 12月分

氏 名	所属R.C.
鈴 木 正 弘	(田原バシフィック)
松 井 準 治	(田原バシフィック)
青 木 泰 樹	(名古屋錦)
加 藤 喜 作	(豊 田)

新ポール・ハリス・フェロー 12月分

氏 名	所属R.C.
春 口 義 文	(東 知 多)
島 田 岱 禅	(東 知 多)
加 藤 尚 一	(東 知 多)
児 玉 賢 一 郎	(東 知 多)
藤 田 芳 男	(東 知 多)
長 谷 川 信 彦	(犬 山)
荻 須 文 一	(岡 崎)
江 崎 多 喜 子	(小 牧)
山 田 安 夫	(小 牧)
河 合 美 彦	(小 牧)
八 田 英 男	(名古屋空港)
小 川 喜 一	(田原バシフィック)

計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

氏原久米人様 (奥三河R.C.)	2月7日
渡辺富貴男様 (名古屋東R.C.)	2月10日
加藤景徳様 (名古屋港R.C.)	2月21日
伊藤健児様 (豊橋R.C.)	2月26日



1月27日付にて日本海重油流出事故災害救援金募集のお願いをさせていただきましたところ早速各クラブにてお取りまとめ下さり、ありがとうございました。皆様の暖かいご支援金合計は5,673,869円でした。(東知多RC・江

南RCは別ルートにて送金)。この救援金は福井県をテリトリーといたします国際ロータリー第2650地区(ガバナー中野重宏氏)を經由して、被災地に贈らせていただきましたことと、救援金クラブ別明細をご報告いたします。

重油流出事故災害義援金寄付額一覧表

	クラブ名	金 額		クラブ名	金 額		クラブ名	金 額	
尾張第一分区	知 多	50,000	名古屋第一分区	名 古 屋 錦	56,000	東三河分区	田 原	72,000	
	半 田	71,000		名古屋東山	47,000		豊 橋	64,000	
	半 田 南	68,000		分区合計金額	819,050		豊橋ゴールデン	83,000	
	東 知 多	☆	尾張分区	犬 山	84,000		豊 橋 北	90,000	
	常 滑	50,000		岩 倉	41,000		豊 橋 南	51,000	
	東 海	62,000		春 日 井	84,000		豊 川	82,000	
	分区合計金額	301,000		小 牧	100,000		豊 川 宝 飯	71,000	
	名古屋第一分区	名 古 屋		201,000	尾張分区		江 南	☆	西三河第一分区
名 古 屋 南		102,000		名古屋空港		66,000	豊 橋 東	27,000	
名 古 屋 港		132,000		尾 張 旭		70,000	分区合計金額	804,320	
名古屋瑞穂		100,000	瀬 戸	54,600		岡 崎	104,000		
名 古 屋 中		162,000	瀬 戸 北	69,000		岡 崎 東	93,755		
名 古 屋 西		120,000	豊 山 城 北	60,000		岡 崎 城 南	69,000		
名古屋大須		104,000	分区合計金額	628,600		岡 崎 南	120,000		
名古屋第一分区		名古屋名南	89,000	尾張分区	あ ま	105,000	豊 田	71,000	
		名古屋名駅	84,897		尾 西	65,000	豊 田 東	77,000	
		名古屋東南	58,000		一 宮	100,000	豊 田 西	78,779	
		名古屋栄	85,000		一 宮 北	85,000	豊 田 三 好	26,000	
		名古屋西南	52,000		稲 沢	48,000	分区合計金額	639,534	
		分区合計金額	1,289,897		西 春 日 井	64,000	安 城	66,000	
	名古屋第二分区	名古屋千種	100,000		尾張分区	尾 張 中 央	53,000	西三河第二分区	碧 南
名古屋東		91,050	津 島	84,000		一 色	45,000		
名古屋北		120,000	一 宮 中 央	50,000		刈 谷	86,000		
名古屋名北		71,000	分区合計金額	654,000		知 立	60,000		
名古屋名東		87,000	東三河分区	渥 美	48,200	西 尾	72,415		
名古屋守山		86,000		蒲 郡	62,120	西尾KIRARA	71,000		
名古屋昭和		46,000		奥 三 河	39,000	高 浜	54,000		
名古屋和合		115,000		新 城	53,000	分区合計金額	537,415		
☆東知多RC 400,000 江 南RC 50,000 別ルートにて送金						地区合計金額	5,673,816		
						預 金 利 息	53		
						送金合計金額	5,673,869		

☆東知多RC 400,000
江 南RC 50,000
別ルートにて送金



文庫通信

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料（貸出可）など、1万7千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

半年間に登録された資料の中から くその2>

- ◎「IM基調講演（「国際社会における奉仕活動の可能性」 舩添要一）及び質疑応答集」
宇都宮北R.C. 1994年 32頁
[申込先 ロータリー文庫（コピー）]
- ◎「戦後50年 中国の大地にロータリーの灯を！」
京都西北R.C. 1996年 52頁
[申込先 京都西北R.C. TEL(075)871-2846]
- ◎「国際ロータリー第7090地区及び第2520地区

（第113号）

- 友情交換活動報告書」 D.2520 1996年 48頁
[申込先 D.2520 TEL(0197)65-0980]
- ◎「青少年交換プログラムマニュアル」 D.2770
1995年 64頁
[申込先 D.2770 TEL(048)834-0123]
- ◎「国際親善奨学生選考実施要領1996-97年度版」 D.2580 1996年 20頁
[申込先 ロータリー文庫（コピー）]
- ◎「地球環境一覚え書(1.水圏)」 武部 啓
1996年 114頁
[申込先 東京武蔵野中央R.C. TEL(0422)42-7258]
- ◎「考えてみませんか、わたしたちのまちの環境を」 東京八王子西R.C. 1996年 135頁
[申込先 東京八王子西R.C. TEL(0426)24-7342]
- ◎「地球と環境 3年生のメッセージ」
村山R.C. 1996年 183頁
[申込先 村山R.C. TEL(0237)55-5581]
- ◎「未来へ届け！平和のメッセージ」
石岡R.C. 1996年 128頁
[申込先 ロータリー文庫（コピー）]

規定審議会に関して（114号）

1989年シンガポール規定審議会

- ◎「代表議員の役割に関する論争」 高島義顕・福嶋洋男・本田莊稜・石川巖・森利男
友：1989・7～1990・5月 7頁
- ◎「規定審議会の通訳を務めて」 牧野昭次郎
友：1989・6月 1頁
- ◎「規定審議会報告－84年の伝統を変える」
ウィルモン L. ホワイト
友：1989・5月 3頁
- 1992年アナハイム規定審議会
- ◎「国際ロータリー規定審議会要覧」 久金 彰
1992年 38頁
- ◎「規定審議会略報－民主主義を見事に実証」
ウィルモン L. ホワイト
友：1992・6月 4頁
- ◎「1992年規定審議会の通訳を務めて」
王村文夫 友：1992年・4月 2頁

- ◎「'92規定審議会報告」 河邨文一郎 D.25
10月信：1992年・3月 7頁
- ◎「規定審議会について」 深川純一 D.268
月信：1991・3月 7頁
- 1995年カラカス規定審議会
- ◎「規定審議会報告－ロータリーの議会」
ウィルモン L. ホワイト、ワキン・メヒア 友：
1995・6月 5頁
- ◎「規定審議会に副SAAとして」 板橋敏雄
友：1995・4月 1頁
- ◎「国際ロータリーの立法機関－規定審議会への手引き」 友：1995年・1月 3頁
- ◎「ロータリーの未来を形づくる－ビル・ハントレー会長に聞く」 友：1995年・1月 3頁
[上記申込先 ロータリー文庫（コピー）]

ロータリー文庫

〒105 東京都港区芝公園2-6-3abc会館7階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

1996～'97年度 新世代プログラム報告(平成8年7月～平成9年1月)

項目	ロータリー名	名古屋守山	名古屋守山	安城
実施日 会場 出席者		平成8年8月8日 名古屋都ホテル ローターアクター 31名 ロータリアン 51名 提唱9RC合同委員会 12名	平成8年9月5日 名古屋都ホテル 守山区ボランティアサークル 7名 ロータリアン 52名	平成8年9月24日 安城学園高等学校 インターアクター 16名 ロータリアン 5名
新世代会議にて話題になったテーマ		名古屋第2分区、9R.C.共同提唱「名古屋名城ローターアクトクラブ」の育成・支援について 1.ロータリー・ローターアクト「合同奉仕プロジェクト」の開発と将来展望 2.ローターアクトクラブの会員増強 3.9R.C.共同提唱についての諸問題	昭和44年9月、守山R.C.守山区子ども会育成連絡協議会の支援により結成された「守山区ボランティア・サークル」へ継続支援 1.少子化現象による「子ども会活動の停滞」と「地域子ども会の減少」問題について 2.サークルのレベル・アップのための諸研修を支援するとともにRYLAセミナー等に参加研修を受ける。	「ボランティア活動を通して高校生の立場から大人に言いたいこと」 募金活動、老人ホームでのお手伝い等で知ったボランティア活動に対する大人の反応、高齢化社会の現実等についての感想。
その結果、クラブで計画した新世代プログラム		具体的プログラムは未策定ですが、1.2.3.について「9R.C.合同ローターアクト委員会」を定期的に開催し、討議する。できるだけ早期に具体的計画案を練り、実行できるよう現在検討中。	1については社会現象であり、すぐ具体的対策をとるのは難しい。今後の研究課題とした。	

項目	ロータリー名	豊山・城北、名古屋空港(合同)	江南	渥美
実施日 会場 出席者		平成8年11月16日 豊山町社会教育センター 行政 6名 地域社会の新世代 130名 ロータリアン 70名 その他 50名	平成8年11月21日 江南市民文化会館 行政 2名 ローターアクター 18名 ロータリアン 29名	平成8年12月11日 伊良湖ガーデンホテル 行政 5名 地域社会の新世代 14名 ロータリアン 58名
新世代会議にて話題になったテーマ		1.思いやりと現代の教育講演会 2.座談会形式による子供(小6)3名、父母の代表1名、先生代表1名、R.C.代表2名、以上7名による発表。	1)家庭に関する問題(核家族と共働きについて、子供のしつけ) 2)ロータリー、ローターアクトという言葉から思うこと 3)明日の江南市について	21世紀の渥美町を考える「ヨーロッパ視察に学ぶ」ヨーロッパ各都市に学ぶ町づくりと自然環境に対する考え方町づくりは人づくりだ、ボランティア環境に対する住民の考え方、役所の取組み方。
その結果、クラブで計画した新世代プログラム		上記テーマで新世代会議を実施した結果、次年度に継続するかどうかは次年度の課題として残した。	1)共働き、子供のしつけ等の意見をRAC例会を通して説明を行う。 2)ロータリーの知名度が低いという意見に対しRCの広報委員会の活動を行う。	国際感覚豊かなリーダーの養成の為、毎年実施される海外派遣の青年男女と町の指導者を招待して継続的な会議の開催。地域の青年経済研究会が計画(H.9.6.5実施予定の地域の小学5・6年生全員を招待)している渥美町の美化と町づくりの会議について継続的な援助、協力。



項目	ロータリー名	一宮・一宮北・一宮中央・尾西(合同)	知 多
実 施 日		平成8年12月14日	平成9年1月26日
会 場		一宮クラシックホテル	知多市商工会館
出 席 者		行政 1名 インターアクター 3名 ローターアクター 3名 地域社会の新世代 6名 ロータリアン 14名 その他 1名	行政 10名 ロータリアン 42名 地域社会の新世代 11名 大学教授 1名
新世代会議にて話題になったテーマ		あなたの夢と地域社会に望むこと。	1. 偏差値教育 2. 学習成績が人間評価を左右する現教育方針の批判 3. 大学生の就職協定 4. 職場の人間関係 5. 成人式のセレモニーについて 6. 勉強を最優先する同世代に対しての批判
その結果、クラブで計画した新世代プログラム		4クラブ合同にて酒井分区代理をコーディネーターに神田一宮市長と青少年の代表者4団体に12名とのフォーラムを企画実施しました。	クラブ会長が知多市内の2高校の校長、教頭と面談、新世代会議の内容を伝え、意見交換。3月15日・16日の地区主催のライラセミナーに青年2名を参加させる。そしてその内1名に例会で卓話をしてもらう。

各クラブの新世代会議のご報告を掲載させていただきます。昨年の8月より今年の1月迄のもので、月信にすでに掲載された以外のご報告です。

国際ロータリー会長よりの書簡

1997年1月10日

全地区ガバナー 殿

会員増強実行グループのゼネラル・コーディネーターとして活躍下されているドン・クエイト元理事から会員増強の進捗についての素晴らしいニュースが届きました。

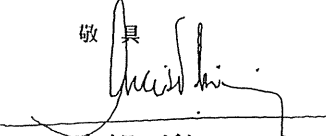
- ・ 15の地区では、既に、1996-97年度の会員増強の目標を達成し；
- ・ 現在、既に、約18,600名の新ロータリアンの純増が報告されている。

このような成果を可能にした皆様のご活躍に感謝しています。

就きましては、各地区で設定された目標の達成を目指して、その努力を倍増して下さることをお願いいたしております。その目標が達成されましたならば、ロータリーの未来に大きな恩恵をもたらすと同時に、築け未来を、行動力と先見の眼で、を目指してよりよい奉仕をすることができるようになるのであります。立派にその目標を達成されたガバナーの皆様は、グラスゴー大会の壇上において賞状を授与され表彰されることになっております。

皆様の優れたご協力とご献身に対し厚くお礼申し上げます。

敬 具


ルイス・ピセンテ・ジアイ
国際ロータリー会長

分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数			分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数		
				'96年 7月1日	当 月	増 減					'96年 7月1日	当 月	増 減
尾 張 第 一 分 区	知 多	98.47	4	47	51	4	西 尾 張 分 区	あ ま	99.29	4	104	105	1
	半 田	99.58	4	74	71	-3		尾 西	97.69	4	63	65	2
	半 田 南	98.86	4	68	68			一 宮	99.46	4	92	95	3
	東 知 多	99.44	3	62	67	5		一 宮 北	97.94	4	85	85	
	常 滑	98.51	4	70	71	1		稲 沢	99.49	3	65	66	1
	東 海	98.38	3	61	62	1		西 春 日 井	100.00	4	61	64	3
	計	98.87	—	382	390	8		尾 張 中 央	100.00	3	50	49	-1
名 古 屋 第 一 分 区	名 古 屋	96.74	4	222	235	13	東 三 河 分 区	津 島	100.00	4	89	90	1
	名 古 屋 南	99.13	3	121	128	7		一 宮 中 央	98.19	3	72	75	3
	名 古 屋 港	100.00	4	130	132	2		計	99.12	—	681	694	13
	名古屋瑞穂	100.00	4	104	104			渥 美	93.01	3	63	67	4
	名 古 屋 中	99.84	4	160	162	2		蒲 郡	95.52	4	78	80	2
	名 古 屋 西	99.14	4	143	152	9		奥 三 河	92.71	3	38	40	2
	名古屋大須	100.00	4	96	104	8		新 城	93.60	4	68	71	3
	名古屋名南	99.72	4	84	89	5		田 原	100.00	4	73	72	-1
	名古屋名駅	95.33	3	102	108	6		豊 橋	98.73	4	132	133	1
	名古屋東南	98.70	4	84	87	3		豊橋ゴールデン	99.70	4	84	83	-1
	名 古 屋 栄	99.12	4	83	85	2		豊 橋 北	99.75	4	116	118	2
名 古 屋 第 二 分 区	名古屋西南	100.00	4	52	52			豊 橋 南	98.77	4	68	71	3
	計	98.98	—	1,381	1,438	57		豊 橋 東	100.00	3	32	34	2
	名古屋千種	99.28	4	68	69	1	西 三 河 第 一 分 区	豊 川	97.10	3	82	82	
	名 古 屋 東	98.22	4	113	116	3		豊 川 宝 飯	96.59	4	68	71	3
	名 古 屋 北	99.55	4	115	120	5		田原パシフィック	97.11	4	76	78	2
	名古屋名北	98.56	3	67	71	4		計	97.12	—	978	1,000	22
	名古屋名東	97.73	4	84	87	3		岡 崎	100.00	3	117	122	5
	名古屋守山	96.51	4	84	86	2		岡 崎 東	98.44	4	83	93	10
	名古屋昭和	97.14	4	72	70	-2		岡 崎 城 南	100.00	4	76	77	1
	名古屋和合	100.00	2	110	113	3		岡 崎 南	98.81	4	113	118	5
	名 古 屋 錦	96.97	4	60	66	6		豊 田	99.35	4	98	96	-2
	名古屋東山	100.00	4	—	47	47		豊 田 東	99.61	3	91	95	4
	計	98.40	—	773	845	72		豊 田 西	100.00	4	105	101	-4
東 尾 張 分 区	犬 山	100.00	4	78	84	6	西 三 河 第 二 分 区	豊 田 三 好	98.53	4	32	36	4
	岩 倉	94.51	4	41	41			計	99.34	—	715	738	23
	春 日 井	100.00	4	83	84	1		安 城	96.62	4	91	90	-1
	小 牧	98.18	3	68	71	3		碧 南	100.00	3	83	84	1
	江 南	100.00	4	73	77	4		一 色	100.00	4	52	51	-1
	名古屋空港	98.52	4	65	68	3		刈 谷	100.00	4	92	91	-1
	尾 張 旭	99.64	4	70	70			知 立	100.00	3	54	58	4
	瀬 戸	100.00	3	78	81	3		西 尾	100.00	4	76	77	1
	瀬 戸 北	98.41	4	70	69	-1		西尾 KIRARA	100.00	4	70	71	1
	豊 山 城 北	97.08	4	60	61	1		高 浜	98.14	4	54	56	2
	計	98.63	—	686	706	20		計	99.38	—	572	578	6
地区内クラブ数				76RC	'96.7.1 会員数		6,168名		増 加 会 員 数		239名		
					当月末会員数		6,389名		減 少 会 員 数		18名		
					当月平均出席率		98.73%		差引純増会員数		221名		